



KUMAMOTO GREEN Rotary-Club



2013-
2014年度
テーマ

国際ロータリー 「ロータリーを实践しみんなに豊かな人生を」 R.I.会長 ロンD・バートン

地区方針 「良き友を得てロータリーを学び奉仕を实践しよう」 R.I.2720地区 ガバナー 赤山 武興

熊本グリーンR.C. 「魅力あるクラブにしよう」 熊本グリーンR.C. 会長 山下 隆生

■例会日：毎週月曜日 18:30～19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：山下 隆生 ■幹事：河島 一夫 ■会報担当：長野 義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@io.ocn.ne.jp

国際ロータリー 第2720地区 熊本グリーンロータリー・クラブ週報

【2014年2月17日】

第1119回

2013-2014年度 第26回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30

2. 食事と交歓

「それでこそロータリー」(ロータリーソング)

来訪者紹介

- 熊本市域R C
熊本東R C
松本孝一郎 君、稲本 信広 君
- 米山奨学生
曹 娥さん



友情の握手

会長スピーチ (山下 隆生 会長)

昨日は、晴天の下「熊本城マラソン第3回」が開催されました。わがクラブからは残念ながら誰も参加されませんでした。私の友人たちも多く参加したようです。日頃の成果の結集で皆さん充実感でいっぱいのような様子でした。ソチオリンピックの方もまだまだ開催まただ中で、アスリートの皆さんのモチベーションも見ていていい刺激を頂いています。

今日、例会の後半は来週に控えた二十五周年記念祝賀会で披露される「熊本グリーンロータリークラブ合奏団」の練習会を当てております。今まで

の練習と後少しの頑張り、実力以上の成果が出せればと願っています。皆さん頑張って良い成果を出しましょう。

先週の週末は、会長エレクトの田中会員と、地区委員の仙波会員と一緒に「地区クラブ管理セミナー」に参加して参りました。私も昨年エレクトとして参加しておりましたが、どういった内容であったか記憶があまりないのが反省点です。

今回は、三年に一度の「規約、細則」の改訂がありましたので報告致します。

綱要から目的に、新世代から青少年にと言葉の移行から始まり、今実験的に行われている「衛星クラブ」の規約への追加が主のようでした。ロータリーE クラブというインターネットを使ったオンラインでの例会もこの時代だからこそできた形ですが、今度は「衛星クラブ」というまた新たな形のクラブを現在「名古屋城南ロータリークラブ」の下、実験を行ってようです。こちらのクラブは、新クラブを作る準備の仮クラブのようなものでもあり、一人でも活動できるのですが、実際は親クラブ「名古屋城南ロータリークラブ」の配下での活動になるようです。クラブ例会は、時と場所を他の例会の合間に行い、いろんな場所で移動するような形なので「衛星クラブ」というのかもしれない。まだまだ、形やイメージはつかみきれないクラブ形態が多いですが、やはり時代をつかんだ新しいクラブ運営も必要なのでしょう。

卓話
予定

- 2/24 ★ 熊本グリーンR C 創立25周年記念祝賀会(於: ホテルキャッスル2 F)
- 3/3 熊本YMCA 総主事 堤 弘雄 氏(熊本RC)
- 3/10 会員増強フォーラム
- 3/17 地区大会報告

グリーン・クラブの例会日がきても、出席するかどうか決めるには及ばしません。というのは、私にとって出席は決まりきった事だからです。これは、ロータリーに入会したとき受入れた義務の一つです。

幹事報告 (河島 一夫 幹事)

■ 例会取止め・変更

<変更>

【熊本りんどうRC】

2月27日(木)の例会を、歓迎例会のため、同日19:00よりおはこ銀座通り店にて行います。

【熊本西稜RC】

・3月3日(月)の例会は、親睦例会のため、同日18:30より日本料理「おく村」にて行います。

【熊本'05福祉RC】

・3月11日(火)の例会は、県民総合運動公園清掃のため、同日午前7:00より県民総合運動公園駐車場集合にて行います。

・3月25日(火)の例会は、観桜親睦例会のため、3月29日(土)12:00より寺田邸にて行います。

<取止め>

【熊本西稜RC】 3月10日 定款第6条第1節

出席報告

(中島 光司 クラブ管理運営委員)

(出席担当長)

	会員総数	26名	出席率
2月17日	出席免除会員数	0名	57.69%
	計算上会員数	26名	
	出席会員数	15名	
2月3日	前回の出席会員数	14名	64.00%
	メイクアップ数	2名	
	修正出席会員数	16名	
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
・1/30 熊本西南RC 趙君			
・2/17 熊本城東RC 大友君			

委員会報告

①「ロータリーの友」2月号の内容紹介
報告者:江上泰弘クラブ広報委員長

②2月分米山奨学金授与

報告者:山下隆生会長から曹娥さんへ

③「3分間中国語講座」

米山奨学生の曹娥さんによる中国語講座、久しぶりでしたので、基本に戻り、挨拶の練習から始めました。



その他の報告

「熊本東RC創立50周年記念式典」のご案内
熊本東RCより2名来訪され、7月13日(日)ホテルキャッスルにて行われる式典の案内と登録のお願いがありました。

スマイル

(蒼 孝之 クラブ管理運営委員)

(スマイル担当長)

●松本孝一郎君、稲本信広君

「今日は熊本東RC創立50周年記念式典の御案内に参りました。精一杯の準備をしてお待ちしたいと思います。よろしくお願ひ致します。」

●山下隆生君、河島一夫君

①「曹娥さん美味しいぎょうざをありがとうございました。ご自身でつくられたものですか? ありがとうございます。」

②「熊本東RCの松本様、稲本様ようこそいらっしゃいました。又、御苦勞様です。御盛會をお祈り致します。」

●仙波洋八君

①「一歩先き行く熊本東クラブの松本さん、稲本さんのご来訪を歓迎します。松本さんは来期の熊本第三グループガバナー補佐に就任されます。期待しています。創立50周年式典に是非出席させて頂きます。」

②「本日は卓話時間から8時30分まで合唱団の練習です。23日(日)は午後4時から6時まで直前練習です。大谷楽器に集合よろしくお願ひ致します。」

●趙健次君

「熊本東ロータリークラブの創立50周年の御案内にお見えの松本様、稲本様お疲れ様です。」

●荒木 一之 君

「昨日の「熊本城マラソン」の盛り上がりをお祝いしてスマイルします。テレビでもだいぶ放映されてました。知人も出ていたそうです。」

●松村 秀逸 君

①「当クラブへのメイクアップ来訪者、熊本東RCの松本様、稲本様を歓迎してスマイルします。」

②「曹娥様ギョウザありがとうございます。お礼にスマイル致します。」

●中島 光司 君

「いよいよ創立25周年記念例会まで1週間となりました。心を一つにして成功させたいと思っています。ご協力を宜しくお願い致します。」

●十時義七郎 君、蒼 孝之 君、河野 景治 君

①「2週間ぶりのクラブです。1ヶ月前からの2回のぎっくり腰、又、次の週に足を踏み外して胸を打撲。ようやく元気になりました。(蒼)」

②「曹娥さんの両親のギョウザありがとうございました。」

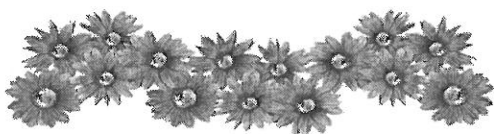
3. 例会プログラム

25周年実行委員長 中島 光司 会員

「創立25周年事業打合せ＋
男性合唱団練習」



4. 閉会・点鐘



ロータリーの魅力を伝えるには
ベナンとブラジルのクラブリーダーが秘訣を紹介



約2年間で、ベナンのコトヌーリブゴージュ・ロータリークラブとほか3クラブを結成に導いたロータリアン、ジェニ・ヴィラサ・クレスチアさん。そのうち2クラブは、ほぼ全員が若い会員のクラブです。成功の秘訣はいたってシンプル、「ロータリーへの情熱を、家族や友人、地元の人に話したこと」。地元の名士にロータリーを紹介するためなら待ち時間もいとわず、一度断られても、そこで断念することはありません。

クレスチアさんが会員候補者にいつも話すのは、ロータリアンとなれば、ロータリー財団からの大きな支援で、世界で最も貧しい人びとを助けられるということです。「それが分かっているロータリアンにならないのは罪なこと」と言い切るクレスチアさん。

「みんな私の情熱に心を動かされてロータリーに入会したといいます。入会してもらいたい相手に情熱を伝えるべきです。意欲さえあれば、不可能なことはありません」

特に若い人には、低コストで柔軟なクラブ例会について説明すると効果的。例えば、サウスミッドネアポリス・イブニング・ロータリークラブ(米国ミネソタ州)は、食事抜きで例会を開いて会費を下げることができました。また、地元フードバンクでボランティア活動をするなど、月に1回、奉仕活動を例会の代わりとしています。

入会を声かける際は、ロータリーの重点分野とその活動も紹介するとよいでしょう。ブラジルのグワシュペ・ロータリークラブは地元に基づいた活動を行い、その成果を広報した結果、会員を50パーセントも増やすことができました。2005年には会員が20人にも満たなかったと、当時のクラブ会長、クラウジョ・スピーゲルさんは話します。「地域テレビ局と協力して、“Rotary in the Community”という番組を毎週放送しました。トークショー形式でロータリーで活動する人にインタビューしたり、プロジェクトを紹介したりしました。おかげで、大変多くの人にロータリーの魅力を伝えることができました」

ロータリー始まりの日

それは、1905（明治38）年2月23日である。この頃は、自動車がようやく実用化の段階に入ったばかりで、まだ馬車の方が中をきかしており、飛行機もそれより約1年ばかり前、ライト兄弟によって発明されていたが、ほんの2～3分間空に浮かぶことができるという程度であった。（日本で云えば、日露戦役の終わった年にあたる）

この年の2月23日の晩、米国イリノイ州のシカゴで4人の人がデアボン街にあるユニティ・ビルの711号室に集まった。4人というのは、弁護士のポール・P・ハリス、石炭商のシルベスター・シール、鋳山技師のガスタバス E. ローア、洋服商のハイラム・ショーレーである。“ガス”ローアの事務所であるこの部屋は狭く、机が1つとあまり掛け心地のよくない椅子が四つおかれているほか、隅に洋服掛けがあり、壁には写真が1～2枚と工事関係の図表がかかっている。当時ありふれた事務所であったようだ。4人は、ポール・ハリスが過去5年の間あたためてきたアイデアについて語り合った。簡単に云うと、お互いの事業あるいは職業上の結びつきを通じて、友好的交友関係を築くことができるはずであり、またそうすべきであるというのである。仕事の上での関係が、友情の妨げとなることはない、ポールは考えたのである。

上記の文章は、「国際ロータリー・広報提供」として『ロータリーの友』1969年2月号に掲載された「ロータリーの始まった日」というタイトルの記事の冒頭です。ポール・ハリスが若いころ、5年の予定で放浪生活をしていたことは、ご存じの方も多いと思います。予定の5年に、3か月を残していたころ、弁護士事務所を開くためにシカゴにやってきた、と『MY ROAD TO ROTARY（ロータリーへの私の道）』には書かれています。

しかし、喧騒とした大都会で、彼は孤独を感じていました。そんな時、ポール・ハリスは、ある経験をします。そして、その経験が、ロータリーをつくるきっかけになりました。「ある晩、私は同業の友人に連れられて、郊外の彼の家を訪れました。夕食後、近所を散歩していると、友人は、店の前を通るごとに、店の主人と名を呼んで挨拶するのです。これを見ていて私

は、ニューイングランドの私の村を思い出しました。そのとき浮かんだ考えは、どうにかしてこの大きなシカゴで、さまざまな職業からひとりずつ、政治や宗教に関係なく、お互いの意見をひろく許しあえるような人を選び出して、ひとつの親睦関係をつくれないものだろうか、ということでした。こういう親睦関係ができれば、必ずお互いに助け合うことになるはずですよ、と、前出の『MY ROAD TO ROTARY』に書いています。

1905年2月23日。ロータリーの会合が初めて開かれたこの日、その会合の前に、ポール・ハリスは、シルベスター・シールと夕食を共にしています。『奉仕の一世紀』には、「その日の午後遅く、ポールとシルベスターはマダム・ガリのレストランで夕食を共にし、親睦とビジネスを推進するクラブという構想について話し合った。（中略）夕食後、ポールとシルベスターはデアボン・ストリート127番地のユニティ・ビル7階にあるローアの事務所まで歩いて行った」と、書かれています。

ところでこの時、二人は何を食べたのでしょうか。この質問に対する答えは、ここには書かれていませんが、『The National Rotarian』（『The Rotarian』の前身）1912年3月号に見ることができます。その中でポール・ハリスは「私は、シールと私がマダム・ガリの店に行ってスパゲティ・ディナーを食べたのをよく覚えています」と述べています。

皆さまも、二人のように、スパゲティを食べながら、ロータリーについて語り合ってみてはいかがでしょうか。

編集長 二神 典子



ロータリー100周年を記念して、最初の会合が開かれたビルの跡地に設置されたプレート